

審査員からのコメント

地域の空き家問題に対して、「高校生が充実した生活を送ることで、域外への流出を抑制できるのではないか」という仮説から、古民家に学習室を設置するという解決策を提案した。実行に当たっては採算の壁などに直面したものの、断念することなく、ステークホルダーとの協働により、古民家の1室を期間限定で使用するかたちで、第1歩を踏み出すことができた。当初の想定に比べて限定的な取り組みであったものの、試行錯誤の末、自分達でルールを決めて運営したことは評価できる。また、この経験から、地域のお困りごとに目を向けたことも興味深い。学習室利用の制度化や、「地域困りごとインターンシップ」活動など、今後の取り組みに期待したい。

